

給食だより

第2号

令和3年度2学期

作成／瀬戸市栄養教諭・学校栄養職員
発行／瀬戸市学校教育課 学校給食係
(給食センター)

第1号では、「SDGsと食との関わり」について取り上げました。第2号は、愛知県や瀬戸市で生産された地場産物の活用とSDGsとのつながりについてお伝えします。

地場産物を活用した学校給食は【SDGs】の達成に貢献しています

瀬戸市の学校給食では、瀬戸市産や愛知県産の食材を積極的に活用しています。市内の生産者とJ A、瀬戸市産業政策課、瀬戸市教育委員会等の関係機関が連携し、瀬戸市産の食材を計画的に使用しています。昨年度は、米やたまねぎ、なすやさつまいもなど**10種類の瀬戸市産の食材を使用**し、回数や種類は年々増えています。**愛知県産食材の使用割合は、約31%**でした。

【瀬戸市の学校給食の例】

愛知県産(主に知多半島や渥美半島)の牛乳を使用

「瀬戸市産なすと豚肉の炒めもの」

愛知県産または瀬戸市産の米



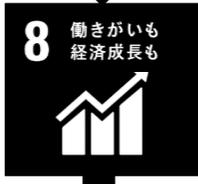
地場産物を活用することで、子どもたちの食べ物への興味関心を深め、**地域を愛する心を育むことにつながります。**



食料を船や飛行機、トラックなどで輸送する際、CO₂(二酸化炭素)が排出されます。CO₂は、地球温暖化の原因とされている温室効果ガスのひとつです。生産地が近い**地場産物を購入することで、CO₂排出量を減らすことができ、地球環境を守るにつながります。**



地場産物を活用することで、**地域の生産者を支え、生産者が地域の食を支えるという生産者の働きがいにつながります。**



外国から食料を輸入した場合、その食料だけでなく、栽培・飼育に必要な目には見えない水も一緒に輸入してしまいます。**地場産物を購入し、食料輸入量を減らすことで水不足に悩む人々が生きるために使用できる水を増やすことにつながります。**

牛肉 200gを生産するためには、500 mlのペットボトル約 8240 本分の水が必要なんだって。

食料の大部分を輸入に頼っている日本は、大量の水を海外で使っていることになるんだね。

さまざまな教科の中で地場産物に関する学習をすすめています

小学3年生 社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」

3年生では、自分たちが暮らす瀬戸市の農業や産業について学習します。瀬戸市のどの地区で米や野菜、家畜が生産されているかを調べたり、なすや米を作る農家の仕事や栽培の苦労やさまざまな工夫を学びます。

給食の時間には、瀬戸市の地場産物を味わいながら、学習を振り返ります。



1 農家の仕事

わたしたちの市でつくられる米や野菜い調理室をのぞいてみると、きゅう食のじゆんぴをしていました。

「今日のきゅう食のこんだては何かな。」

「今日のおかずは瀬戸市でとれたなすを使っているよ。」

「なすはどのあたりでとれるのかな。」

「他には、何をつくっているのかな。」

【小学校社会科副読本せと「農家の仕事」p.38】

【給食で食べた瀬戸市産なすを「副読本せと」で振り返る児童】

小学5年生 社会科「わたしたちの生活と食料生産」

5年生では、自然条件を生かした食料生産や流通、消費について学びます。

日本の食料自給率と自分たちの食生活の変化にも目を向け、今後の食料生産の課題について、消費者や生産者の立場から考えて学習を深めます。

食料自給率を高めるとりくみ

自給率を高めるとりくみを知り、これからの食料生産について考えよう

地産地消

今がしんものを食べる

住んでいる地域のものを食べる → 地域生産・地域消費

⇒ 安心安全

【社会科授業の板書】

中学校 技術・家庭科(家庭分野)「日本の食文化と和食の調理」

身近な地域で多く生産されている食材を調べたり、地域の食材を使った料理を家族や地域の人に聞いたりして、地域の食材と調理についての理解を深めることを通して地産地消のよさを学びます。また、地域の食文化についての学びも深めます。

私たちにもできる 家庭の食卓から【SDGs】の達成を目指しましょう

☆枠内の項目ができたなら、お子様と一緒に□にチェックしてみましょう。

地場産物を探そう

- 愛知県や瀬戸市でとれる食材を調べる。
- 愛知県産の目印「あいまる」のマークを探す。



地場産物を買おう

- 産直コーナーに足を運ぶ。
- 愛知県産、瀬戸市産の食材を選んで買う。

地場産物を味わおう

- 愛知県産や瀬戸市産の食材を使って料理を作り、味わう。
- いろいろな料理に活用する。



【SDGs】の達成に貢献

まずは、瀬戸市産、愛知県産の食材に目を向けることから始めましょう。そして、地場産物を「見てみよう」「買ってみよう」という行動につなげ、【SDGs】の達成に貢献しませんか。

～瀬戸市学校教育課から皆さまへ～
ご負担いただく給食費は、給食の材料に使い、子どもたちに安全でおいしい給食を提供するための大切なものです。